

女性同窓生エッセイ一期一会

第11回 荒木由美子さん(69期)

1. 関東同窓会との出いやくきかけ

定年退職後しばらくしてから、58期の大先輩寺島知恵子さんから関東同窓会の役員をしてほしいとの依頼の電話をいただきました。私は、それまで関東同窓会の総会にも、当番期の一回しか参加したことがなく、こんな私ではとても務まるとは思えなかったのですが、同期の池田有美子さんが副会長をなさっているということをお聞きし、少しでもお手伝いできればとお引き受けすることになりました。年一回の「女性同窓生の会」では各方面で活躍なさっている女性の方々が講演、コンサートなどを快く引き受けて下さり、その後の懇親会では楽しいお喋りで大いに盛り上がりました。いろいろな面でアドバイスをいただき、いつも貴重な体験談をお話ししてくださった寺島さんが昨年亡くなられたのは、とても残念で悲しいことでした。

2. 関東同窓会に想うこと期待すること

同窓会は、年齢や職業などを超え、青春の一時期の懐かしい思い出を共有できるかけがえのない場です。更に、様々な経験や仕事のこと、これからの生き方についてなど気軽に話し合える貴重な場でもあります。

まだ現役で活躍なさっている方にとっては、関東同窓会の活動に参加するのは時間の制約もあり少しハードルが高いかもしれませんが、年一回の総会では、懐かしい方々、また未知の方との思いがけない出会いもあり、楽しい時間を過ごすことができることと思っています。

現在、上田高校の女子はほぼ半数とのこと。社会で生き生きと活躍する女性は今後ますます増えていくことでしょう。同窓会が、女性ゆえの苦勞、悩み、葛藤などについてもお互いに語り合い、励まし合うこともできる場所になることを期待しています。

3. 高校時代一番の思い出

たくさんありますが、一番は松尾祭の思い出でしょうか。私は、3年間ギター・マンドリンクラブに所属しておりましたが、松尾祭では多くの方に演奏を聴いていただきました。そのために松尾祭の前は夜遅くまで練習し、夏休みには泊りがけの合宿もありました。その合宿では、朝、昼、晩と3食自炊に追われたのも懐かしい思い出です。

残念ながら、ギター・マンドリンクラブは部員数減のため活動停止になってしまったのですが、何年か前よりOB・OGの方が練習を再開しコンサートも開催されているとお聞きし、とても嬉しく思っております。

4. 近況 など

出版社を定年退職後は、自由になった時間をどのように使おうかといろいろ考えましたが、とりあえずは今まで時間の余裕がなくゆっくり行けなかった海外旅行のために、英語を勉強しなそうと思い英会話スクールに入会したのですが、中学レベルの英文法、英単語も見事に忘れてしまっていて大ショック。そのほかには、オープンカレッジを受講し、「枕草子」を3年半かけて全文読破する講座、経済ニュースや社会問題を扱う講座、その他タイトルに引かれての講座などに様々なチャレンジしております。

記憶力や理解力は若い時のようにはいきませんが、いくつになっても学ぶことはできる、知識を増やすことはできると自身を鼓舞する毎日です。